



きらっと彦根 2005 7

世界にひとつだけ 彦根の魅力・再発見

彦根まちづくり情報誌 2005年7月1日 通巻1号

編集/発行 NPO法人 彦根景観フォーラム 広報部会

みんな集まれ「星空映画祭」



昨年8月、300名が彦根跡地で「花の生涯」(1953年松竹)を楽しんだ「星空映画祭」が今年も開催されます。

彦根でロケされた映画は、最近では「たそがれ清兵衛」・「蝉しぐれ」・「雨あがる」・「RED SHADOW 赤影」など、天守、天秤櫓、玄宮園等をロケ地としたものが多くあります。

さて、今年の上映は・・・。第一候補

昨年の星空映画祭「花の生涯」は「青い山脈」です。「青い山脈」は、石坂洋次郎原作の不朽の青春映画で、1963年日活制作、吉永小百合・浜田光夫・高橋英樹・二谷英明・芦川いずみ・南田洋子等の出演です。映画の冒頭、城郭(彦根城)が映り、町の歴史が説明され、その城下町にある貞淑女子高校(彦根市立西中学校)を舞台に展開します。

夏の星空のもと、懐かしい彦根を舞台とした映画を皆さんと楽しみましょう。詳細が決まり次第お知らせいたしますのでご期待ください。

町家活用講座・連続開催中

町家は先祖から贈られた財産です。個性豊かで生き生きとしたまちを創るためには、現存する町家を生かすことが重要です。本講座では、町家とは何か、生かす意義は何か、新しい住まい方としての町家、魅力ある使い方としての町家から、町家再生の方法、町家を生かしたまちづくりまで、町屋を会場として一貫して考えます。

- 第1回 町家とは何か、町家を生かす意義 6月11日(土) 力石邸 濱崎一志(滋賀県立大学教授)
 - 第2回 町家の新しい住まい方 6月18日(土) 中居邸 小谷部育子(日本女子大教授)
 - 第3回 町家の魅力ある使い方 6月25日(土) 太田邸 岡野 睦(彦根景観フォーラム事務局長)
 - 第4回 町家の再生 7月2日(土) 旧広田邸 戸所岩雄(建築家)
 - 第5回 町家を生かしたまちづくり 7月9日(土) 城一会館 山崎一真(滋賀大学教授)
- いずれも 10:30~12:00。どなたでも無料で参加できます。

「寺子屋カ石」あなたならどうする?

NPO彦根景観フォーラムでは、さる5月21日、河原町にある町屋「寺子屋カ石」の公開実測を実施しました。

「カ石」は花しょうぶ通りの中央に位置し、江戸時代は寺子屋として活用されていた歴史ある建物です。一時、駄菓子屋、レコード店として利用されていましたが、現在は活用されず、持主も住んでおられません。

私たちNPOでは、実測をもとに、この建物を活かしながら再生させるため、地域住民・商工会議所・大学・学生と実行委員会を組織し、再生法を模索しています。「街の駅」構想もその一つで、将来的には各町にという思いもあります。しかし、ありきたりのことでは持続的な運営はできません。皆さんの様々な角度からのアイデアを募集しています。



花しょうぶ通り「寺子屋カ石」

特集

世界遺産登録をめざして
武家の古都・鎌倉の
取り組みを学ぶ

連載 創造的修景を考える (1)
個性と伝統を生かす 戸所岩雄
私の好きなおまかせスポット
湖東焼窯跡 中川一志郎

お知らせ

- 彦根景観フォーラムのめざすもの
- マスコット「愛称」募集
- リレーエッセイ・わたしの彦根

彦根景観フォーラムのめざすもの

NPO 法人 彦根景観フォーラム

理事長 山崎 一眞

(滋賀大学教授)

私たちのまち「彦根」には、素晴らしい彦根城があり、お城を取り巻く城下町には、江戸時代から昭和初期に建築された素晴らしい建築物や構築物が数多く残されています。

これまでの大掛かりな都市開発や整備事業によって、彦根の街並みは相当変容しましたが、幸いなことに城下町を構成する要素のほとんどが残されており、他に類を見ないほど城下町の原型をとどめていると言われています。

しかし、郊外での商業施設や宅地開発が進行し、城下町の空洞化・高齢化が進む一方にあるのも事実で、すばらしい街並みはまさに急ピッチで変貌しているのです。

このような中、平成15年に開催された「日仏景観会議」彦根会議では、多数の参加者を得、「まちの探索」、「まちかど博物館」などのイベントでは、多くの市民に「歴史と文化に対する感動」を働きかけることができました。また、市民とともに意見を交換し、彦根の都市景観を維持・創造させるための「未来に向けた宣言」を採択し、市民・行政・専門家・企業等による永続的な「彦根景観フォーラム」の組織化を誓いました。

私たちは、この誓いを受けて、美しい自然環境と歴史的遺産を持つ彦根の景観を、住民とともに考え、活かし、守り育て、慈しみ、未来に向け働きかけるとともに、住みやすく、楽しく、そして私たちが誇りを持てるまちにするため、平成16年8月に「彦根景観フォーラム」を立ち上げました。

彦根景観フォーラムは相互の尊重と共生、民主的な運営と情報公開を基本原則として、次の事業を展開していきたいと考えています。

- ① 街歩き等のイベントやセミナー・フォーラムの開催
- ② 近世・近代遺構や街なみの保存・活用に関する調査、研究
- ③ 街なみ・建造物の保全、およびこれを活かすために必要な助言や支援・実践活動
- ④ 町家への居住の推進

ご支援をよろしくお願いいたします。



名前をつけてね



NPO Hikone Keikan Forum

愛称募集!

昨年の夏休みに会員の子もさんが“ぶらっと彦根”で街歩きしたコースの一つを歩いてみました。

その中で、彦根の町家の“うだつ”が強く印象に残ったそうです。

そして“うだつ”を残す民家を可愛く描いてくれました!でも、まだ名前がついていません。このマスコットにしたしみ易く、覚えやすい名前をつけてくれませんか?

皆さんご応募、心からお待ちしています。

応募先: 彦根景観フォーラム 最下段の連絡先、

または、e-mail hikonekeikan@hotmail.com まで。

リレー・エッセイ わたしの彦根 笠原 啓史

寒くて、田舎で、何にもないし・・・と、20代のころは、都会への憧れもあり、大阪へ出て15年ほどになります。今年40才になり、外から彦根を見ていると、改めてその良さを感じています。

山があって、川があって、びわ湖があって、お城があって、歴史があって・・・自慢するところがいっぱいあります。

しかし、その良さが十分活かされないまま、どこにもある街に姿を変えつつあります。昔のままが良い訳ではなく、人がそこで生活する以上、街は少しずつ成長していくのは当然ですが、そこには、なんらかの哲学が必要です。

地球環境のことが言われる今、等身大の暮らしに合った 等身大の街を大事にしていきたいですね。

話し合う夢から始まる・まちづくり あなたも参加しませんか?

彦根景観フォーラム・定例ワークショップ

毎月・第2水曜日 午後7時～9時まで 滋賀大学・陵水会館にて

滋賀大学・滋賀県立大学の教員や学生、建築家、主婦、会社社長、会社員、市民、商店主、県や市の公務員など、いろんな人と知恵が集まります。

NPO 法人 彦根景観フォーラム

滋賀県彦根市

TEL 080-1416-5968 / 0749-27-1141 FAX 0749-27-1431

<http://www.h6.dion.ne.jp/~hikone/hikone2/index/html>

e-mail: hikonekeikan@hotmail.com

「きらっと彦根」年4回発行 次号 10月1日発行予定

発行人 理事長 山崎 一眞 / 編集代表 堀部 栄次